

生研第23048号

令和5年11月1日

校長・准校長 様

生物科 様

大阪府高等学校生物教育研究会
会長 柴原 信彦

令和5年度大阪府高等学校生物教育研究会
第1回学術講演会について（ご案内）

貴殿ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本研究会の活動にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度大阪コミュニティ財団大阪府教員研修のための梶本基金助成による、大阪府高等学校生物教育研究会主催の第1回学術講演会を下記のとおり開催いたします。

ご多忙のこととは存じますが、よろしければご出席くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時： 令和5年12月8日（金） 午後3時00分～5時00分
2. 場所： ケニス株式会社
（〒530-0043 大阪府大阪市北区天満2丁目7-28）
3. 内容： 講演題目「菌根菌とその活用の現状、ならびに当社菌根菌実験キット
について」
講師 株式会社松本微生物研究所 生物環境事業部 栗栖 敏浩 氏
4. 参加者： 生物科・農業科・工科教員・実習教員（約45名）

参加をご希望される先生は下記のQRコードから申し込みください。QRコードの読み取りができない場合は、下記連絡先、本部事務局の岡本宛にメールで「第1回学術講演会参加希望」、「メールアドレス」、「学校名」、「名前」を記入し、申し込み願います。（ネット申し込み頂けるとこちらの業務の効率化が図れるため非常に助かります）



〈連絡先〉

大阪府高等学校生物教育研究会事務局
（府立事務局）大阪府立泉陽高等学校
理科 加藤 励

TEL：072-233-0588 FAX：072-233-6645

E-mail：reikt1974@gmail.com

（本部事務局）大阪教育大学附属高等学校池田校舎
生物科 岡本 元達

TEL：072-761-8473 FAX：072-762-1076

E-mail：gentatsu0311@gmail.com

○講師 株式会社松本微生物研究所 生物環境事業部 専務取締役 栗栖 敏浩 先生

○講演テーマ・要旨

菌根菌は一般的に外生菌根菌、アーバスキュラー菌根菌（A菌根菌）、内生菌根菌の3つにグループ分けすることができる。外生菌根菌は樹木に外生菌根を形成し、A菌根菌は草本植物と樹木にA菌根を形成する。内生菌根菌には、いくつかのタイプがあるがエリコイド菌根菌は、ツツジ科等の樹木に内生菌根を形成する。

いずれの菌根菌も土壤中に広がった菌糸を通じて養水分を集め、菌根を通して植物に与えている。その一方で植物からは光合成によって作られたグルコースを貰って生育し、共生関係を維持している。

海外では菌根菌は、かなり以前から注目され、農業や林業分野で活用されているが、国内ではこれまで見過ごされており、近年になって化学肥料の高騰もあって、ようやく注目され始めている。しかし、一般には菌根菌に関する知識は、ほとんど浸透しておらず、今後の普及と理解の深まりに期待がもたれる。このような状況の中でケニス(株)から菌根菌の「実験キット」化についての打診を頂き、当社としては、菌根菌に関する知識が正しく普及することを期待して「実験キット」を製造している。

○講師略歴

1) 履歴

1991年4月 (株)環境総合テクノス(旧(株)関西総合環境センター)に入社

2019年3月 (株)環境総合テクノスを退職

2019年4月 株式会社松本微生物研究所に入社

2) 専門分野

(1) 菌根菌をはじめとする土壌微生物に関する実用化技術の開発

1991年から1996年頃までは、関西電力(株)が保有する緑地帯の早期緑化と景観維持のために、樹種毎に適用可能な菌根菌や根粒形成微生物に関する技術開発を行った。インドネシアやマレーシア等にも短期渡航し、熱帯林再生のための現地調査や菌根菌利用技術を適用した植林業務にも従事した。

(2) 菌根菌をはじめとする土壌微生物の接種資材化

2010年頃までは、サウジアラビアやオーストラリア等での乾燥地や半乾燥地での環境修復プロジェクトに従事し、菌根菌をはじめとする土壌微生物の実用化のために接種資材化に関わる技術開発にも従事した。その結果、2013年～2014年には、菌根菌に関する2つの特許を取得し、(株)松本微生物研究所と共同で微生物資材販売を開始した。

(3) 樹木や樹林の樹勢回復と景観保全

2014年以降は、国内各地の貴重樹木や樹林の環境・景観保全のために樹勢回復業務に従事し、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方をはじめとする海岸クロマツ林の再生にも宮城県や京都府との共同研究を行う中で協力した。

3) 資格

樹木医(第16期)